

ご使用になる前に

- システムテラ30を使用する前に、必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法を理解した上で使用してください。正しい使用方法がわからない状況では、絶対に使用しないでください。
- この説明書は、ご購入日、ご購入店名など必要事項が記入されていることを確認の上、読み終わった後も大切に保管してください。●水槽の表面や接合部のシリコンに異常がないことを必ず確認した上で使用してください。初期不良の大半は使用前の確認によって発見でき、水漏れなどのトラブルが回避できます。●シリコンの中の気泡は、強度上問題ありません。●システムテラ30は、水槽として使用する上で十分な強度を有しますが、ガラス水槽のため衝撃や歪みには弱い特性があります。必ず、以下の取り扱い上の注意点を守って使用してください。取り扱い上の注意を守らずに、お客様の取り扱い上の問題で製品の破損や事故が起きた場合、弊社は一切の補償を行いませんので、あらかじめご了承ください。

取り扱い上の注意

※必ずよくお読みください。

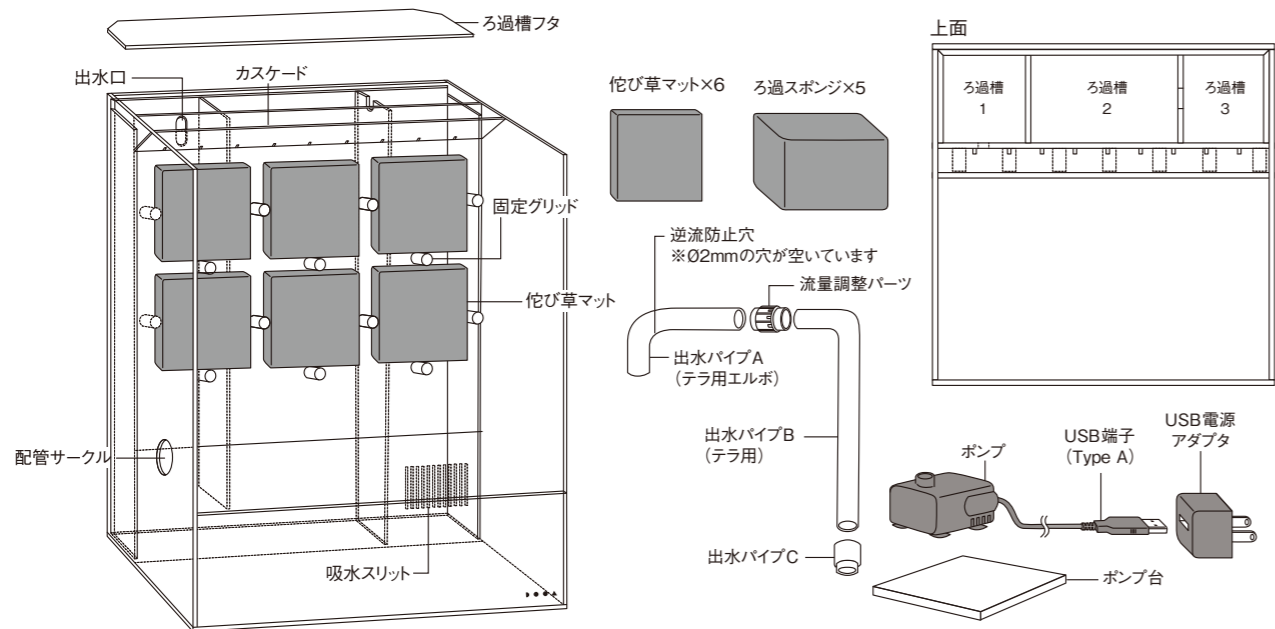
- システムテラ30は、弊社水槽台および十分な強度を有した歪みや傾きのない平面に設置してください。また、設置前には、必ず水準器を使って水槽設置場所に歪みや傾きがないことを確認してください。水槽の割れは、おもに設置場所や水槽台の歪みや傾きなど設置上の問題が原因です。水槽の割れに関しては、弊社は一切の補償を行いませんので、あらかじめご了承ください。
- より安全に使用するために、水槽台の歪みなどを軽減するゴムまたはウレタンの耐震マットを水槽の下に敷いて使用してください。水槽サイズに適合した専用マット（ガーデンマットなど）の使用をおすすめします。
- 机や靴箱、サイドボード、カラーボックス、オーディオラックなどを始めとした家具の上には、絶対に設置しないでください。また、床に直接水槽を設置したり、床に敷いた板の上に水槽を設置することも絶対にやめてください。
- 弊社水槽専用台を使用しても、以下の場所には設置できません。
畳敷きやカーペット敷きの部屋（板などを敷いても設置できません）/ 振動が生じやすい場所（例：家屋の2階などは建築構造上不適切と見なされる場合があります）/ 直射日光の当る場所、湿度が極端に高い場所や低い場所、屋外など（シリコンの劣化が激しく、水槽の寿命が短くなります）/ 冷暖房器具の近くなど温度変化の大きな場所 / 家電製品の近く（水が掛かると感電する恐れがあります）/ 子供の手の届く場所（水槽を倒したり、衝撃を与えて水槽を割る恐れがあります）
- 破損の原因となるので、水槽を乱暴に扱ったり、水槽に振動や衝撃を与えないようにしてください。
- 水槽を運ぶ場合は、空の状態ですべての底面を持ってください。
- 水槽に水や砂利などが入った状態では、絶対に水槽を移動しないでください。
- 水槽を置く際は、水槽の下（水槽台の上など）に砂利などの異物がないことを確認してください。水槽の下に砂利などが一粒でもあると、水槽が割れる原因となります。
- 40℃以上の熱湯は、絶対に水槽に入れないでください。また、ガラスに直接ヒーターが触れないように注意してください。温度の急変によりガラスが割れる恐れがあります。
- 水槽を洗剤で洗ったり、有機溶剤を付けて拭いたりしないでください。シリコンが劣化する恐れがあります。水槽の汚れは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 水槽のメンテナンスなどの際に、砂利などでガラスに傷を付けないように注意してください。また、アクリル製の三角定規や金属製のスクレーパーなどで、接合部のシリコンを傷を付けないように十分に注意してください。
- 染色系の薬品は、シリコンが劣化する原因となりますので使用しないでください。
- 水槽の改造は絶対にしないでください。
- 接合部のシリコンが劣化したり剥離した状態では、絶対に使用しないでください。

1.システムテラ30の特長

システムテラ30は、ADAが独自に開発したスタイルでアクアテラリウムを楽しむことができるろ過槽一体型システム水槽です。設置する際の煩わしい配管や配線の手間が少なく、佗び草（別売）や付属の佗び草マットを活用することで、誰でも簡単にアクアテラリウムをつくることができます。別売のADA製照明器具と組み合わせることで、インテリア性にも優れたアクアテラリウムが楽しめます。

2.各部名称

※セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



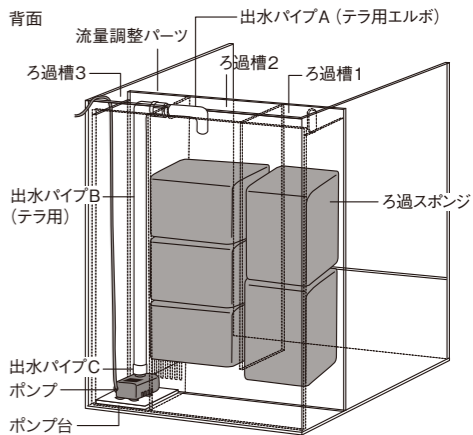
3.使用方法

- ①ポンプ・出水パイプをろ過槽3に設置
ポンプ台にポンプを固定し、右図を参考にして出水パイプA～Cを正しく接続してください。ポンプ設置の際には、ポンプ本体およびポンプ台などをろ過槽内に落下させないように注意してください。ガラスのキズ、カケ、割れの原因になります。
- ②ろ過スポンジをろ過槽1・2に設置
ろ過スポンジは右図を参考にしてろ過槽1に2個（縦向き）、ろ過槽2に3個（横向き）にそれぞれ正しく設置してください。なお、ろ過槽1に設置するろ過スポンジは出水口より下の位置に設置するようにしてください。
- ③ポンプの起動
 - ・ポンプが空回りしないように、ポンプが水に沈む十分な高さまで水を張ってからUSB電源アダプタをコンセントに差し込み、ポンプを作動させてください（ポンプのUSB端子はUSB電源アダプタに接続）。なお、ポンプ作動後は水の蒸発により水位が日々下がっていきます。定期的にチェックして水位がポンプより上に保たれていることを必ず確認し、必要に応じて水を足すなどして水位を保ってください。ポンプの空回しは絶対にしないでください。故障の原因になります。
 - ・ポンプを起動してからポンプの正常な作動、水槽からの水漏れやその他異常がないことを必ず確認してください。異常が見られた場合は、すぐにUSB電源アダプタ（もしくはUSB端子）を抜き、再度接続や設置に問題がないか確認してください。問題がわからないままでの使用はおやめください。USB電源アダプタやコンセントに水がかかったり、水がコードを伝って濡れると、火災、感電の原因となります。これを避けるため、USB電源アダプタは水槽より高い位置にあるコンセントに接続するか、やむをえず水槽より低い位置のコンセントに接続するときは、水がコードを伝ってもコンセントまで達しないように、コードをいったん下にたるませた状態でご使用ください。

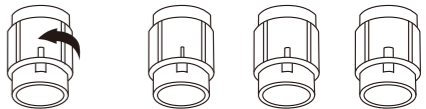
- カスケード部の水位調整
カスケード部に流れる水量は、流量調整パーツで調整できます（流量を絞ると、構造上パーツ本体から水がにじみ出るようになります）。流れる水が表面張力でカスケード部にとどまる程度に調整すると水の流れる様子が美しく見えます。
- 佗び草マットの使い方
 - ・佗び草マットは使用する前に水を溜めたバケツの中などで、変形しない程度にマットを軽く揺すったり揉んだりすると、佗び草マットに付着している加工時の粉末ゴミなどが除去できるほか、マットに水が馴染みやすくなります。
 - ・佗び草マットにウィローモスを固定するときは「モスコットン」を使用すると、モスコットン自体の吸水力でマット表面のウィローモスにも給水され良好な育成環境が維持されるようになります。モスコットンは縦横0.5～1cmの巻幅で格子状に巻くとウィローモスにまんべんなく水分が補給されます。
 - ・シダ類やアスビアスなどの活着性水草は、マットに根が張るまではとてもデリケートですので、状態の良い水上葉に展開させた株を準備するのが適切です。傷んだ葉や根はカットして、莖や根はウィローモスで包むように佗び草マットに固定してください。
- 佗び草マットを使った水草の水上管理のコツ
 - ・佗び草マットに固定する水草の状態や設置環境の湿度によっては水槽の前・側面などをラップで覆い、一時的な乾燥対策をおすすめします。
 - ・佗び草マットの上辺側面にウィローモスなどを付けると水が引き込みやすくなり、佗び草マットの保水性が高まります。
 - ・最低でも1日1回はハンドスプレーなどでたっぷり霧吹きしてください。

その他の使用上の注意

- 照明器具はADA製の30cm水槽対応のものをご使用ください。
推奨モデル：アクアスカイG301（ADA NATURE AQUARIUMシリーズ）
- 飼育生物の必要に応じてヒーターおよびサーモスタットを使用する場合は、水量10ℓに適合するものを使用してください。ヒーターおよびサーモスタットの設置については、使用製品の説明書にしたがって正しく、安全に使用してください。なお、使用するヒーターのサイズによっては、ろ過槽1・2の底部空きスペースにも設置できます。
- ろ過スポンジは、使用しているうちに汚れて目が詰まってきます。目詰まりを起すと流量低下にともないろ過能力が低くなってしまうため、定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンスはろ過スポンジをろ過槽から取り出し、飼育水をバケツにためてろ過スポンジを軽くもみ洗いでください。特にろ過槽2の最上部に設置したろ過スポンジは、大きなゴミなどを除去する物理的ろ過の役目を兼ねるため目詰まりを起しやすいので、定期的なメンテナンスを心がけてください。
- カスケード部は藻類や汚れが付着します。水の流れが悪くなる前にカスケードブラシS（DOOAシリーズ）などを使用してこすり落とし、きれいな状態を保ってください。
- 佗び草および佗び草マットは、固定グリッドでしっかりと固定してください。なお、佗び草はØ9cmタイプのものが最大6個まで固定グリッドに設置できます。
- 佗び草マットにウィローモスや活着性水草を活着させる場合には、別売の「モスコットン」の使用をおすすめします。
- 水中スペースにCO₂添加を行う場合は、サイドの配管サークルをご利用ください。
- 底床素材にはDOOAシリーズのトロピカルリバーサンド（別売）またはトロピカルリバーソイル（別売）の使用をおすすめします。
- 換水時はポンプの電源を止めて作業を行ってください。
- 水の濁りや黄ばみ、藻類の対策には、DOOA アクアクリンAC（別売）をご使用ください。高性能活性炭と活性アルミナの働きで水の黄ばみ、有機物、リン酸を強力に除去します。システムテラ30ではろ過槽2の上部に1パック入れ、2週間ごとに新しいパックに交換すると効果的です。

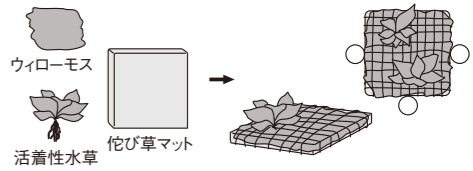


流量の目安



中央のパーツを回転させて 少 中 多
目盛りを合わせます。

※流量調整パーツは流量を絞ると、構造上パーツ本体から水がにじみ出るようになります。ろ過槽内に設置されるパーツのため使用上問題ありません。



佗び草マットの上や側面にウィローモスや活着性水草をのせ、別売の「モスコットン」で巻き付けて固定します。
固定グリッドの合間にしっかりと固定し設置してください。